事務事業名		地域特産物研究開発事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目			
	施策名	20: 産地化をめざした農林業の振興					☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 平成14 年度~) ☒ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項
	基本事業名	01: 農業経営の安定化			01	06		01	03	13
根拠法令										
所属	部課名	農林水産部 農林課								
	係名	農政係	電話	27-3111						
			内線	345						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)			
・市の特産物である小枝柿生産の拡大を目的に、加工方法や加工商品の研究開発を委託する。 ・小枝柿の技術や設備のある農協に委託して実施する。 ・委託事業終了後、事業に関する実績報告を受ける。							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
								財源内訳	都道府県支出金	450
									地方債	
									その他	1,449
									一般財源	450
								事業費計(A)	2,349	
							人件費	正規職員従事人数	1	
								延べ業務時間	210	
								人件費計(B)	840	
								トータルコスト(A)+(B)	3,189	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
小枝柿の人工乾燥加工試験と、脱気・脱酸素剤による新パッケージ(袋)による賞味期限の試験を、大船渡市農協に委託した。		ア	委託先が加工した小枝柿の数量
			kg
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
小枝柿の人工乾燥加工を農協に委託する。		ウ	
加えて、農協が今年度導入した脱気・脱酸素剤による新パッケージ(袋)による賞味期限の延長効果を実証する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	
小枝柿生産者		単位	
		カ	小枝柿生産者数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
小枝柿の人工乾燥加工を利用し、小枝柿生産者の販売額が増える。		ク	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
農産物が安定して高く売れる。		単位	
		サ	小枝柿加工品販売額
			千円
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		150	150	150	50	
		地方債	千円						
		その他	千円	525					
		一般財源	千円		150	150	150	50	140
		事業費計(A)	千円	525	300	300	300	100	140
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30
		人件費計(B)	千円	120	120	120	120	120	120
		トータルコスト(A)+(B)	千円	645	420	420	420	220	260
活動指標	ア	kg	5860	3740	6000	1900	600	8400	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	79	78	80	102	80	60	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	千円	7117	2551	7430	4060	1705	4899	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0516	事務事業名	地域特産物研究開発事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 小枝柿の新たな加工技術の開発により、農業経営の安定化及び農業者の所得向上を図るため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 小枝柿生産者が高齢化してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 農業関係者及び物産関係者からは、小枝柿を当市の特産品として今以上に市外に売り込むべきとの意見が寄せられている。 市場からは、出荷量を増やして欲しいとの要請がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ↘ 有効な加工方法を確立し特産品として小枝柿を販売することによって、農業者所得の向上につながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ↘ 特産品開発のきっかけとして市が関与している状況であり、農業所得向上のため必要で妥当な事業といえる。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ↘ 対象である小枝柿生産者の販売額を増やす事業であり、対象、意図とも妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] ↘ 小枝柿加工品のブランド化が進めば、単価が向上し販売額の増加が期待できることから、事業の継続が必要。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ↘ 小枝柿の生産を魅力あるものにししないと新たな生産者が確保できない。 事業の廃止等は、小枝柿生産者の減少につながり、生産量の減少を招く。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 他に統廃合できる事業がない。 ☒ 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 研究開発の委託事務にかかる最低限の事業費であり削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 研究開発の委託事務等にかかる人件費のみであり削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ↘ 開発研究事業のため一般生産者へ負担を求めることは適切でない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 現段階までの経過では、新たな加工技術が確立していない。</p>																			
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																														
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 加工技術や設備を個々の生産者にまで広げることが難しい。 新たな加工商品の開発が望ましい。</p>	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																												
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 生産者全体に広がる事業の検討。</p>																																

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p>☐ 記述不足でわかりにくい</p> <p>☒ 一部記述不足のところがある</p> <p>☐ 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p>☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p>☒ 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p>☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																																
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。</p>																			
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td>☒ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 委託先の大船渡市農業協同組合から諸事情により受託できない旨の申し出があつたことから廃止する(23年度から実施していない)。</p>	☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																												
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>